



MICHELIN

# Brand-NEW

2輪最高峰のロードレースMotoGPで使われるタイヤと  
全く同じ2コンパウンド・テクノロジーと製造技術を採用



Power Race 前輪

Power Race 後輪

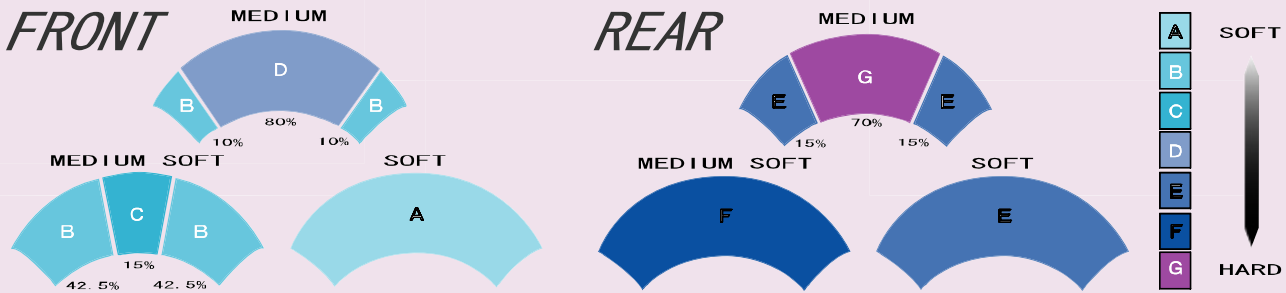
# POWER RACE



2コンパウンド・テクノロジー(2CT)を採用!

MotoGPの技術から生まれた「Power Race」は、トレッドを2つのゾーンに分け、それぞれの性能要件に合わせたコンパウンドを使用しています。

ミシュラン「Power Race」の断面図



\*フロントのミディアム、ミディアムソフト、リアのミディアムは、2CTです。  
フロントのソフト、リアのミディアムソフト、ソフトは単一のコンパウンドで構成されています。

分布表	Size	Soft	Medium-Soft	Medium
Front	110/70 ZR 17 (54W)	100%	-	-
	120/60 ZR 17 (55W)	100%	-	-
	120/70 ZR 17 (58W)	100%	42.5%+15%+42.5%	10%+80%+10%
Rear	150/60 ZR 17 (66W)	100%	-	-
	160/60 ZR 17 (69W)	100%	100%	15%+70%+15%
	180/55 ZR 17 (73W)	100%	100%	15%+70%+15%
	190/50 ZR 17 (73W)	100%	100%	15%+70%+15%

推奨空気圧 Front 210 kPa Rear 190 kPa  
ST250 Front 160 kPa Rear 170 kPa

## 100%MotoGP用素材

「Power Race」には、サーキット専用開発されたC-RA0(レース最適化コンパウンド)と呼ばれるコンパウンド製法が採用されています。これは2004年シーズンのMotoGPタイヤに使われたものとまったく同じ素材です。

## MotoGPタイヤと同じ製造工程

「Power Race」シリーズのほぼ全種類が、MotoGPタイヤと同じC3M製法で製造されます。従来のタイヤ製法では7つの工程が必要でしたが、C3M製法では1工程で製造されます。C3M製法では一体構造のモールドからタイヤをつくるのが可能で、生タイヤと完成品はおなじ形状をしています。これはトレッドに使われるゴムの位置ずれがなく、きわめて正確に製造できることを意味します。これによってグリップと摩耗のバランスをどれだけ高いレベルで保てるかが決まるため、「Power Race」のような2コンパウンド・テクノロジーを用いたタイヤの製造にはとても大切な要因です。

## 軽量化と低いグリップレシオにより高いレーシング性能を実現

「Power Race」のフロントタイヤは非常に軽量でフロントとリアの合計重量も公道使用が認可されているプロダクションレースタイヤの中で最も軽量のレベルを実現しています。

「Power Race」のグリップレシオを三角レーザー測定法で測ると、フロントもリアも6%強で、プロダクションレースタイヤの中では最も大きな値です。これは「Power Race」がサーキットと公道の両方に対応できることを意味しプロダクションレースタイヤとして最も優れた適応性を発揮します。

\* 110/70ZR17と150/60ZR17を除く。

\*ミシュランHP製品ニュース抜粋参照

ミシュラン・タイヤの事は  
オートスタジオ・スキルへ

有限会社 オートスタジオ スキル  
AUTO STUDIO SKILL  
Phone 0426-76-1144  
Fax 0426-76-1145  
URL http://www.skill.co.jp  
e-mail info@skill.co.jp